

会 議 録

会議の名称	第2回 東由利地域協議会
開催日時	平成24年10月17日（水）午後1時30分から
開催場所	東由利総合庁舎 二階 会議場
出席者氏名	「出席者名簿のとおり」
欠席者氏名	渡辺幹夫 伊東文雄 畠山与一 小松正武 小松由子 小松佳和 高橋京子 長谷山光 畑山敏男 千葉 覚

会 議 次 第

1 開会
2 会長挨拶
3 総合支所長挨拶
4 案件 （1）地域づくり推進事業について （2）地域協議会の今後の進め方について （3）その他
5 その他
6 閉会

会議の経過	別紙のとおり
-------	--------

出席者名簿

地域協議会委員 10名/20名

役 職 名	氏 名	備 考
会 長	長谷山 博 昭	
	小 松 彪	
	鈴 木 博	
	阿 部 タツ子	
	石 綿 喜代隆	
	遠 藤 忠 平	
	大日向 与志子	
	小 松 耕之助	
	佐 野 陽 子	
	佐々木 雅 廣	

市民福祉部政策監兼福祉事務所長	小 川 弘	
総合支所長	佐々木 喜 隆	
主幹兼振興課長	柴 田 和 尋	
市民福祉課長	嶽 石 文 弥	
建設課長	小 松 聖 明	
産業課長	遠 藤 晃	
東光苑施設長	木 内 法 男	
教育学習課長	高 橋 裕 子	
事 務 局	富士盛 良 輝	
	小 松 幸 月	

平成24年度 東由利地域 第2回地域協議会

日 時 平成24年10月17日(水)

午後1時30分～

場 所 東由利総合庁舎

二階 会議場

1 開会（午後1時30分）

2 会長挨拶

長谷山会長

本日は大変ご苦労さまです。何かと稲刈り等終わって忙しい時期ではありますが、第2回目の協議会ということでご案内申し上げました。10名の予定ですが若干遅れられている委員もいらっしゃると思いますが、始めさせていただきたいと思います。

今年の夏は非常に猛暑で大変でございました。記録的な猛暑と言っていいと思いますが、東由利の温度が35度超えということで連日報道されたせいか、あちこちから電話がかかってまいりました。それほど大変な夏だったのですが、心配していたのは水不足でした。稲刈りも終わったようですが、幸い、作柄は平年並みとのことのようです。

今日の協議会の案件につきましては、平成24年度地域づくり推進事業関係の推進状況、それと地域協議会の今後のあり方というか進め方の件、それから本庁から小川政策監がみえていますから、この場で皆さんにご説明をしたい件があるということです。ですので、よろしくお願いいたします。なにぶん大切な議案ですので、何分ご審議いただきたいと申し上げてあいさついたします。

3 総合支所長挨拶

柴田振興課長

それでは支所長から挨拶いたします。

佐々木支所長

お疲れさまでございます。今、会長からも挨拶がありましたように、今年の8月はテレビで東由利地域が毎日といっていいほど紹介されていました。県内一、暑が続いたということで、全国で8位という記録も残っているそうです。それでは県内で一番高い気温の場所はどこか、ということを開かれますけれど、旧東由利町役場の前でございます。メタセコイヤも切りました、庁舎もなくなりましたということで、日陰もなくなって温度が高くなったのかと思いますが、定点観測地は変わりませんので、あそこが県内で一番気温が高い場所、という記録が残った場所です。

予報では昨夜半から天気が崩れる予定でありまして、今日は午後から委員の皆さんにゆっくり座っていただけたと思いますが、予想を覆されまして、この天気の中、非常にご多用の中座っていただいております。ありがとうございます。

今回の会議からは、前回までの会議室から旧東由利議会議場ということで趣を変え

ております。平成17年3月の定例会が最後の議会であったと記憶しております。この場所で14人の議員の皆さんが合併というものを心配して、合併に思いをはせて色々と議論をなされた場所です。今日の協議会も、合併したとはいえまだまだ合併進行中でありまして、皆さんの声を出していただかなければならないので、活発なご協議をお願いいたします。よろしくお願い申し上げます。

4 案件

柴田振興課長

会議の進行については、会長をお願いします。

長谷山会長

会議の進行を進めたいと思います。それでは議題に入らせていただきます。
協議に入ります前に、さきほど延べさせていただきました小川政策監から報告とい
いますか、ご説明申し上げたい点があるとのことですのでひとつご説明をお願いします。

小川政策監

大変ご苦労さまでした。市民福祉部の小川です。私の方から報告したい事項があり
ますので、貴重なお時間をお借りしまして報告させていただきます。
市直営の特別養護老人ホームの今後の検討運営について報告させていただきます。
市では平成18年3月に由利本荘市行政改革大綱を作成しまして行政改革に取り組ん
でおります。さらに平成22年3月には平成22年度から26年度までの5年間を期間とす
る第二次由利本荘市行政改革大綱を策定し推進しております。この計画におきまして
施設の利用実態の検証を行いまして、施設の統廃合や管理運営体制を見直すことにな
っております。この中には市が直接管理運営しております特別養護老人ホーム鳥寿苑、
ケアセンター遊楽館、当東由利地域におきましては、特別養護老人ホーム東光苑が含
まれております。この三施設につきましては平成24年度までに今後の管理運営の方向
性を検討し、決定することになっております。
検討にあたっては三つの項目があります。
一つ目は民間でできることは民間でということで、民間に委託できるものは民間に
お願いするということです。
二つ目は組織のスリム化と職員の定員管理ということです。
三つ目につきましては公の管理の適正化を行うこと、となっております。
そういう中で考えられる方法としては、一つ目は施設は市の保有のままで運営を民
間に委ねる方法の指定管理制の導入、二つ目は施設を譲渡または貸付しながら運営を
民間に委ねる方法の民間移譲の民営化、三つ目は今まで通り市で直営のまま続ける等
が考えられるということであります。それぞれにメリット、デメリットが考えられま
すのでその点について検討していきたいと思います。
その内容に基づきまして今後、議会、地域協議会、施設利用者、施設利用者の家族
に情報を提供してまいりたいと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。
今のところ市のワーキンググループで検討されている内容について報告させていた
だきました。またのちほど内容がはっきりしましたら、地域協議会で報告させていた

だき、皆さんに説明したいと思います。

長谷山会長

ただいま政策監からは、市の行革の一環としてこういう取組みをしているという報告でしたので、これに関しましては皆さんから意見をいただくということではなく、説明をしていただいたということでご理解していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(1) 地域づくり推進事業について

長谷山会長

それでは案件の方に入らせていただきたいと思います。
(1) 地域づくり推進事業につきまして事務局の方から説明お願いいたします。

事務局

地域づくり推進事業について、現在の状況について報告いたします。
資料平成24年度地域づくり推進事業状況一覧表をご覧ください。本年度、12件の事業が進行しているということについては、前回6月7日の協議会で説明しているところですので、事業名および事業内容の説明は省かせていただきます。
10月16日現在、事業が終了している事業は7事業であり、確定額が120万1千円、40.03パーセントの執行率となっております。終了した事業につきましては、この協議会に出席いただいている委員の皆さんのご協力もあり、どの事業も盛会に終了していることをご報告いたします。のちほど会長から若干の報告もあろうかと思います。
なお、現在、残りの5事業が進行中でありまして、完成予定日の完了を目指しているところであります。
平成25年度の地域づくり推進事業の実施につきましては、次回12月を予定しています協議会までに、なんらかの動きがあると思いますので、その際に説明させていただきます。
以上、簡単ではありましたが、地域づくり推進事業の現在の状況について報告させていただきました。

長谷山会長

私も「笑顔の話し方講座」に何回か参加させていただきました。委員の中にも参加された方が見受けられます。わたくしとしては非常に話し方というか笑顔というのは大切だと感じました。この講座に参加された委員の方で、気が付いたことがありますしたら何か一言ずつありますか。

阿部委員

とてもいい講座でした。私も人前では話が不慣れなものだから、講座に出れば笑顔も出るかなと思ったのですが、話してみると笑顔は忘れて何を話したのかわからない感じでした。ただ、ステージに立ったりして、みんなが和気藹々と話して少しは自信がついたのかな、と思いました。今回だけでなく続けることでもっと意義があるのかなと感じました。

石綿委員	非常にいい講座で皆さんにお勧めしたいなと思いました。当初予定より回数も増えましたし、皆さん楽しくおかしく出来た講座で、また時間があればやってほしい講座だと思います。
佐々木委員	講座受講中、旅行がありましてあいさつする機会が3回ほどありました。さっそく講座で教えていただいたことを実行したんですが、大変ウケまして「何かやっているのか」と聞かれたりしました。こういう講座は発声等、何度もやらないと忘れていくと思います。またやってほしいです。
佐野委員	私も7回全部参加させていただきまして、話し方はもちろんですが、日常話したことがないような若い人、そういう人たちと笑顔で話すことが出来たことがありまして、大変よかったと思っております。若い人が挨拶してくれるようになりましたので、大変いい講座だったと思います。また機会がありましたらお願いします。
長谷山会長	非常に参加してよかったという意見が多いようではありますが、定期的に7回開催されており、連続で参加して学ぶというのは素晴らしいことだと思いました。私は最初と最後の2回参加しましたが、最初と最後では参加者の雰囲気全然違うと私は受け止めました。トータル的にはよかったな、と私も思いました。地域づくり推進事業の一環でしたので、私も最後にひとこと挨拶しました。参加者からはまたあんな機会があればいいなという声も聞かれました。 事業の中の「ふるさと保存事業」については、先般フォーラムがありましたが、その中で紙芝居をデジタル化したということで、今日の資料の中にもありますように、椎川先生もこの事業について素晴らしいと評価していました。 「河川整備推進事業」についても、今年鯉のぼりがあがりましたが、事業としては鯉のぼりの支柱を整備する予定となっているようであります。事業予定日までに完了していただければと思います。 いずれすべての事業はまだ終了しておりませんが、終了した事業についてはよかった、または成果があったということのようであります。 その他ご意見等ございませんか。 ないようですので、それでは次の議題に入らせていただきます。

(2) 地域協議会の今後の進め方について

長谷山会長	(2) 地域協議会の今後の進め方について、事務局から説明をお願いします。
柴田振興課長	実は今年の三月定例議会の一般質問で地域協議会のあり方について質問が出ております。「地域協議会の役割というのが合併時にはあったが市長は知っているのか」、また「地域協議会はこれからも続くのか」、という質問がありました。それに対しまして市長は「あり方について検討します」と回答しております。継続するのか、それとも

新たな組織で地域協議会と同じように続けていくのか、できるかできないのかも含めて検討するとしています。

先月地域協議会会長会議が行われ、継続するのかもしれないのかと、議論が行われました。市としてまだ方向性が決まっていなかった中での会議でありまして、方向性が見いだせないままでした。その中で地域協議会の委員の皆さんの意見を聞いて欲しい、という説明がありましたので、今日委員の皆さんに意見を聞く地域協議会を計画させていただきました。合併時の合併協議会委員の方もいらっしゃるようですので、合併時に地域協議会が成立する中で、どういう話になったのかという話もお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

長谷山会長

9月27日でしたか、地域協議会の会長会議が行われました。その中で市の方から地域協議会についての説明があったわけですが、各地域協議会の会長から意見を申し上げたところでありました。最終的には各地域協議会で考えていただきたいということです。この後、正副地域協議会会長会議が開催されますけれども、会議では、協議会の方向性について話し合う機会があると思います。

私は当初から合併協議会、地域協議会に関わっておりませんので、経緯については存じ上げておりませんが、合併協議会委員であります遠藤委員が当時関わっておりましたので、地域協議会の進め方なり将来的な方向性について話があったのかどうか教えていただければと思います。

遠藤委員

私は合併協議会の委員として地域協議会の立ち上げにかかわっているわけですが、実は私も阿部町長も東由利町としては、こういう形の組織はいらないのではないのかとしたのですが、各地域、矢島町、鳥海町のあたりからは、議員の数も少なく地域の声が反映されないという心配の声があるから、ぜひ地域協議会を作っていただきたいという強い要望があったわけです。長い間設置しておくのはどうかという意見もありましたが、それではまず設置しましょう、という話になったわけです。いらないと言った委員(遠藤委員)が当初の委員に入ったので、皆さんには迷惑をかけたわけです。

私が今の現状を見ておりますと、このことはおかしいと思ったようなことを本音で話していないような気がするんですね。問題の先送りというか説明を聞くだけというか。地域の予算も減らされて、できることは自分でやるという方向性であるのはわかりますが。

私は地域協議会の使命を充実させて本音で語りあえるような会にして、意見提言というものをもう少し行政に提案できるようなものにしたいと思っております。実は元議員の集まりが年に何度があつて、地域でこんなことがあるというようなことを話しますが、その中でも地域協議会で意見を集約して市に提案できるような形にできないのか、という話をする地域もあります。私も地域協議会はそういう方向性であつてもいいのではないかと思いますし、実際に地域協議会の意見が行政に届いているのかという思いもあります。また、現場を実際に見るというか、現場踏査等の実施もできないものかというような意見も提案してもいいのではないかと思います。

地域協議会会長会では今後の方向性を見いだせないということですが、名前はどう

でもいいのではないかと。できれば現職の議員の声だけでなく、地域の声を生かせる地域協議会のような会を継続してほしいというのが私の要望です。

長谷山会長

突然の指名で申し訳ありませんでした。前回の地域協議会会長会でもそうでしたが、ほとんど最初からこのまま続けたいという皆さんの意見が多かったように思いました。じっくり時間をかけて考えてみますと、どういう形で持っていったらいいのか、私個人も時間がほしいなと思ったところです。遠藤委員が言われるように合併協議会の段階から地域協議会について自治区の中に地域協議会を設置するのだという意見があったようであります。

合併から8年ほど経過しているわけでありますが、地域協議会そのものの組織があるとなしではどう違っているのかと考えてみると、例えば地域づくり推進事業については、地域協議会とイコールではないのだと説明がありました。つまり地域協議会があってもなくても地域づくり推進事業はやっていくものなことだと思えます。

先ほど振興課長から説明があったように三月定例議会で地域協議会のあり方について説明したということでしたが、それは協議会そのものの形はこれでいいのか、それとも別の形がいいのかという話だったのかは分かりませんが、私たちは地域の中で様々な団体で活動しているわけで、この地域協議会を通して、意見や提言を出していけるわけですので、協議会そのものは残してもいいのではないかと思います。それが別の形かどうか、それをこの協議会の中で委員の皆さんとどういう方向性があるのか、ご検討いただければ私としてはまとめやすいと思えます。

遠藤委員

逆に議会から一般質問が出るということは、地域協議会は何をやっているのか、期待外れだということなのではないか。もう少し頑張ってもらいたい、という意見でもあるのではないかと。思ったより地域協議会は活動していないのではないかと、これからどうするのだという思いもあるのではないかと感じるわけです。

長谷山会長

委員の皆さんは地域協議会の委員になっているわけですので、任期は平成25年6月いっぱいあるわけですから、地域協議会に対して何か意見はございませんでしょうか。

鈴木委員

来年の6月で委員任期が終了するわけですが、この協議会の設置当初から一期目、二期目で総点検するというような計画はあったのでしょうか。

柴田振興課長

地域協議会会長会でも話が出ましたが、合併してから10年をめぐりに合併後の検証も含めて協議会が終了するのではないかと思っていた委員もいました。今日の資料にもありますが、協議会の形として三期目さらに4年継続するのか、それとも二期目の委員任期をもって協議会が終了するのか、または協議会は終了するが新しい組織、自治区に基づいた協議会でなく、別の審議会か、意見提案できる組織を作るという三つの案があります。あともうひとつ、平成26年度中に次期総合発展計画の見直しが行われるということで、次期総合発展計画について地域協議会に審議してもらうことになれば、平成26年度末まで今の委員の任期を延長してその時点で終了するという案もあ

ります。

さきほど遠藤委員も言っていましたが、いつまでも続けるのではなくどこで新しい形になるのかが見えていないということで、皆さんの意見をお願いしたい、という話です。

長谷山会長

ただいまの説明でなんとなく形が見えてきたと思いますが、私たちは二期目の最後といいますか、来年の6月30日まではまだ任期があるわけです。協議会をこのまま続けてもいいとしたら、三期目平成26年までということになるわけですが、この後の総合発展計画との絡みもでてくるわけですし、新たな組織を作るとすれば今の条例を変えなければならないというわけです。また皆さんが地域協議会の委員として続けていくのかどうかということもあるわけです。地域協議会の委員としてやってきたわけですが、まだまだ物足りないということであればもっと続けていくことでしょうし…。鈴木委員どうでしょうか。

鈴木委員

中身がどう変わろうと、構成員がどう変わろうと、4,000人を切った東由利地域の中で、来年の議員改選で6人削減されるわけで、現在東由利地域には2人の議員がいますが、それ以外にこの地域の住民の声を届ける組織があってしかるべきではないか、と提案したい。そしてもう一つ。先輩の遠藤委員からもありましたが、様々な委員から行政、本庁へと提言がなされているのですが、その結果はやはりこの協議会にストレートに返ってこないような気がします。しかし、今こうやって本庁の政策監から報告があったように、また第一回目の地域協議会では市長から直接説明があったような形で行政との情報交換する場があってもいいのではないかなと、私は思います。以上です。

阿部委員

私は婦人団体から選出されているのですが、横の連絡も大事ですから、何かやるということならばやはり名前が変わってもいいのでこういう会はあっていいのではないかと思います。

石綿委員

今、鈴木委員の意見に共感しております。地域協議会会長会ではこの地域協議会をどのように進めているのかということを協議しているようであります。ただし、東由利地域の協議会についてはあくまで地域づくり、東由利を考える会であり、それが協議会の趣旨であると考えerわけです。あとはその中身、例えば他のところではどうやっているのか、もっと深く追求していくべきではないのかな、と思います。目的さえ決めてしまえばこういう会は続けていくべきではないかと思います。

佐々木委員

私は公募で選ばれた委員ですが、地域協議会から離れてしまうと由利本荘市のことが分かりません。生の声を聞く機会がないのでこの委員になってよかったと思います。鈴木委員も言っていましたが、協議会がないとなかなか要望が本庁に届かないという気がしています。ますます人口が減少していくことを考えると、市長と親しく話す機会があるこの協議会は続けていくべきだと思います。

佐野委員

私は二期目からですので、はっきり言ってあまり協議会の本当の意味を理解していません。ただ、東由利をよくしたいという気持ちは持っています。どうすればこの東由利が住みやすくてみんなに愛される東由利になるのかな、と常日頃から考えています。だから協議会のあり方の話とは違うかもしれませんが、女性の目から見た小さいことを指摘してお願いして少しでも役に立てばいいなと思います。だから、これからは協議会を継続するとか、そういうことは私には大きすぎてわからない問題でした。

大日向委員

私は地域協議会は地域の活性化が出来る場だと思うんです。入った頃はパツとしなくてまたか、というような気持ちだったんです。私は若いお母さん方と話をする機会が多いのですが、今年ですか、ひがしゆり音楽堂の歌声喫茶やスマイルの話し方講座というのがうけているようで、東由利の役場は行事が若く明るくなって新しい風が吹いてきたようだな、と言われていました。役場もこうして変わってすごくいいなと思いました。私も地域協議会を続けていくのか、ということについてはよく分からないのですが、若いお母さん方がもっと役場に興味をもって動けるような、そういう事業をもっともっとやってほしいと思います。

小松委員

地域協議会の方向性については、継続するか、継続しないか、新たなかたちで協議会的な組織をつくるかだが、組織は必要だ、と資料には書いているようだ。結局合併以降、地域間の統一がとれた行政、行政サービスをやっていかなければならないわけだから、地域の意見を聞く地域協議会のような形の組織はなくすべきではないと思います。以上。

遠藤委員

こういう組織はなくすのは簡単だが立ち上げるのは難しい。名前はどうかあれ続けてほしいと思います。さきほど政策監があいさつしましたけれど、東由利地域で大事な東光苑について、平成24年度中に地域協議会の意見を聞きたいと言っておりましたけれど、これは重要な問題だと思いました。諮問委員会に該当するような内容だと思います。そういう意味で協議会に議題をかけて意見集約するということはとても大事な仕事だと思います。それをわきまえた委員会なり協議会を作ってもらいたいと、特に会長には申し上げたいと思います。会長は複数の会の役職を抱えているなど大変ですが、まずは頑張っていただきたいという気持ちを強く思っているところです。

小松委員

私の思いはこの協議会がいい会だと思います。ただ、個人的な意見であります、個人対個人で話はしていますが、行政というのは偉い人がやっているという印象がある。我々の話も聞いてもらいたいと感じております。地域づくり、地域づくりと言っても地域の安心づくりをまず考えてほしい。地域協議会もいいですが、それ以前に行政は個人が困った時に助言いただければと思います。

長谷山会長

地域協議会のあり方はどうすればいいのか、という意見もありましたし、色々と発展した部分もあったと思います。それではここで五分ほど整理する時間を取りたいと

思います。
(2時40分休憩)

～休憩

(2時45分再開)

長谷山会長

それでは協議会を再開します。

地域協議会に代わる組織については協議会的な組織がないと困る、それは地域協議会でもいいのですし、形を変えたものでもいいという意見も出ています。今後の協議会のあり方については私なりにまとめさせていただき、事務局と摺合せしながらなんとか正副地域協議会会議に持っていきたいと思います。

資料の地域協議会のまとめ方の中にも、地域協議会の方向性ということで3件ほどあるんですが、地域の声を反映する協議会のような組織は必要なんだということが書かれていますので、総合発展計画との絡みに考慮してこれからの方向性を考えてまいりたいと思います。

さきほどから任期の件が話題で出ていますが少し整理したいと思います。我々の任期は6月30日までであるわけです。このまま延長するというにはならないと思いますが、人選は選考という形になるのかどうか。

柴田振興課長

今のような人選でよいのかも含めて、継続するのであればどういう人選をするのか、これから決めていくことになると思います。いずれ6月30日で二期目の委員の任期が終了しますので、継続することになればさらに次の任期が与えられるということになります。

長谷山会長

協議会そのものが別の形になった場合、その時点で我々は委員ではなくなるわけですが、今現在協議会はあるわけですので6月30日までは委員というわけです。ただ平成25年の6月以降はどうなっていくものでしょうか。

柴田振興課長

どういう形がいいか、検証していただきたいという話で、7月以降に、今の自治区設置に基づき今の地域協議会を継続していくのか、それとも町内会長会的な地域振興協議会のような組織に変えるのか、ということを検討する、ということです。

ただ当初の予定では合併から10年くらいということで地域協議会の設置がありました。ただ10年というと次の任期の途中ということで、どちらになるのか、という話が出ています。全県でも2期目の途中でもういいのではないかという地域も出てきているので、どうするかということのようです。

長谷山会長

これは合併をしたことで組織が出来たということですね。だとすれば先ほどから話が出ている10年だと我々はあと2年やることになるわけです。しかし12年やるということになれば、さらにもう2年というわけですか。そうすると他の事業との整合性が取れなくなるわけで、例えばあと1年暫定的に協議会を続け、その1年の中で協議会

について整理していくということも考えられないわけではないのではないか。

鈴木(博)委員

任期のことはあまり考えなくていいのではないかな。今、話をまとめてみると任期云々よりも協議会の体制をどうするのか、ということが最優先されるのではないかな。会長に提案したいのだが、11月に西目で正副地域協議会会長会議が開催されるそうですが、委員から出た意見を集約してぜひとも一歩前進した明るさが見える方向性を、議論してきていただきたい、と意見を申し上げさせていただきます。

長谷山会長

もちろん、西目で正副地域協議会会長会議では各会長、副会長からそのような意見が出てくるとは思いますけれど、方向付けとしては先ほどから何度も出ているように、こういう協議会的なものは必要なんだという方向です。それは私も同意見ですのでそのまま意見としてもっていきたいと思います。

ただ、それが協議会なのか、審議会なのか、あるいは町内会のまとまったものになっていくのか、私たちにはわかりませんが、いずれ正副会長会議には、東由利地域協議会としては、地域協議会あるいは協議会的な組織は必要であるという意見が出たと持っていきたいと思います。

先ほどから任期の話が出てますが、いずれ計画されている事業との絡みが出てくる話ですが、私の方からはあまり触れないで、東由利地域協議会としては組織を残してほしいということを発言したいと思います。

大体、協議会のあり方についての意見はまとまってきていると思いますがいかがでしょうか。いずれにしろ由利本荘市の総合発展計画も平成26年までで、そのあとは新たな発想の中で作られると思いますがその時に地域協議会のような組織があるかないとは、違ってくるのではないかと思います。

佐々木支所長

例えば矢島地域では各課に委員が張り付いてプロジェクトチームの中に入り、後期発展計画の見直しを行っているといいます。行政サイドだけでなく地域協議会の委員の意見を伺いながら計画を見直している、ということを矢島からは聞いています。各地域の動き、働きかけは違うとは思いますが、そういうような活動をしているのだということを聞いております。

長谷山会長

矢島地域のその話は私も聞いておりました。矢島地域協議会の委員がプロジェクトの中に入っているということのようです。

佐々木支所長

平成27年度からの後期総合発展計画については職員がチームを作ってすでに動き始めているということです。その中で各課からこの5年間でやりたいことを発展計画に盛り込むのだということのようであります。

長谷山会長

平成27年度からの後期総合発展計画であります、東由利地域にかかわる事業も出てくるということでしょうか。

佐々木支所長 そういうものをこれから見直し、5年間の計画を立てて、財政協議していくことになります。

長谷山会長 だとすると地域の考え方を反映させてもらわなければいけないわけで、地域協議会のような組織は絶対に必要となってくるということです。なおさら、そういう組織だということを理解していかないといけない、形骸化した組織であってはいけないわけです。今まで行政側からの説明を受けてそれを聞くだけ、または関係団体に周知していくというようなことしかしていなかったという思いがあります。やはり市の方向性については、我々もどんどん考えていかなければならないということであり、協議会はこれからも大事に考えていかなければということだと思います。

今、支所長が言ったことはこれからの協議会を考えるうえで大事にしていかなければならないことだと思います。

佐々木支所長 地域協議会の委員の方が各プロジェクトチームの一員となって意見をいただくということは、行政側から入ってくださいと呼びかけるようなものではないと思います。おそらく地域協議会の会議の中で委員がプロジェクトチームに入ると、委員の皆さんが言われたのだと思います。それに対して我々が拒否はいたしませんので、そういう流れではないかと思われま。

長谷山会長 矢島地域はそのとおりであります。

柴田振興課長 11月5日の正副地域協議会会長会議が終われば、地域協議会の今後の方向性が決まるのではないかと思います。その内容を踏まえて12月中に第3回東由利地域協議会をやれるかやれないか分かりませんが、状況をお話しさせていただきたいと思います。それから総合発展計画についてであります。現在何が残っているのか皆さんにお示しして行政としての実施する順番などをお知らせしたいと思いますので、その節は十分にご協議くださるようお願いいたします。

(3) その他

長谷山会長 時間もかなり経過しておりますが、その他ということで事務局、委員のみなさんから何かございませんか

柴田振興課長 その他ですが、一番最初に行った小川政策監の話がその他の内容でしたので特にありません。

5 その他

長谷山会長 その他、事務局から何かありませんでしょうか。

また委員の皆さんからは何かございませんか。

佐野委員

広報ゆりほんじょう10月15日号記事の件です。各地域の産業文化祭日程ですが東由利の日時が違うようです。記事では21日と22日ですが、実際は20日と21日の日程となっているようです。

次に八塩まつりの件ですが、体育館でやるということを知らない人が多かったようです。情報伝達システムで流したようですが、それを設置していない人もいますし、他の地域から来た人から「どこで歌謡ショーをやっているんだ」と3人くらいから聞かれました。急に会場を変更したようですが、八塩いこいの森に行った方が「何もやっていなかった」と帰っていきました。看板でも設置しておいていただければと思いました。

柴田振興課長

場所が変更になったということは、金曜日にABSラジオで放送していましたし、案内についても、須郷田の交差点に看板と案内人をつけておりました。それを見落として八塩いこいの森に向かわれた方もいらっしゃるようでした。

佐野委員

当日は天気もよかったし、非常に残念だと私は思いました。

長谷山会長

金曜日の午後に日曜日の会場変更について最終決定したのですが、天気予報を見ると日曜日はどうしても天候が悪くなる予報だったわけです。ABSラジオの収録もありましたので慎重にならざるを得なかったということもあるようです。また会場も天候が悪くなってしまうと、せっかくのイベントが台無しになるわけであります。

様々な意見もありました。お年寄りからは、「八塩いこいの森にはいけなかったから体育館でよかった」という方もいらっしゃいました。観光協会支部長も務めておりますので、体育館でのあいさつでは大変ご迷惑をおかけしましたとお詫びいたしました。

門倉さんは大変喜んで帰りました。午前9時から並んでいるお客さんもいらっしゃるなど大盛況だったことをご報告いたします。

参考になるご意見ありがとうございました。

今日は大変ありがとうございました。

今日の地域協議会のあり方についての皆さんの意見は正副地域協議会会長会議にまとめたものを持っていきたいと思います。

それでは地域協議会を終わりたいと思います。

6 閉会（3時20分終了）